

第5回 JR古賀駅東口周辺地区整備基本計画策定会議 議事要旨

日時	令和3年7月13日(火) 15時00分～16時10分		
場所	古賀市立歴史資料館中会議室		
出席者 (敬称略)	委員	福岡大学工学部社会デザイン工学科 教授	柴田 久
		熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授	星野 裕司
		古賀市商工会 会長	藤本 芳博
		花鶴タクシー株式会社 代表取締役	保井 亨
		株式会社古賀タクシー 代表取締役	後藤 正典
		西日本鉄道株式会社自動車事業本部営業部営業第二課 課長	久池井 隆
		九州旅客鉄道株式会社総合企画本部経営企画部 鉄道・開発計画 担当課長	力武 基樹
		福岡県公立古賀竟成館高等学校 教頭	米原 光章
		福岡女学院看護大学 事務部長	武井 秀仁
		古賀市行政区 古賀東区長	尾塚 正明
		ニビシ醤油株式会社経営企画室 室長	玉谷 武志
		福岡県粕屋警察署交通規制課 課長	松田 雅文
		国土交通省九州地方整備局建政部都市整備課 課長	若山 恭介
		独立行政法人都市再生機構九州支社 都市再生業務部まちづく支援室 まちづくり支援課 課長	高山 欣也
	古賀市長	田辺 一城	
事務局	建設産業部都市整備課古賀駅周辺開発推進室		
	株式会社都市環境研究所		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・議事次第 ・資料1 JR古賀駅東口周辺地区整備基本計画(案) 		

<議事要旨>

1. 開会

2. 説明および意見交換

(1)整備基本計画(案)について

整備基本計画(案)について説明

【意見交換】

(委員)

6pの「(2)JR古賀駅周辺の人口」について、地図上は西口が左側、東口が右側にあるので、グラフの並びも地図に揃えた方がわかりやすい。

(事務局)

修正する。

(委員)

駐輪場の再整備について、どのようなものになるかイメージがわからない。

(事務局)

駐輪場については、具体的なデザインは今後の検討であるが、できるだけ周辺と調和したデザインで整備できればと考えている。必要に応じて報告書に事例のイメージを追加する等検討する。

(委員)

現況の駐車場はニビン醤油の土地に設けられているが、今後どのような形で整備・運用するイメージなのか説明して欲しい。

(古賀市)

再整備後は公共空間以外の土地は地権者が所有し、どのように活用していくか考えていくことになる。古賀市としては、駅周辺以外において、駐車場についてどうすべきか検討していく必要があると考えている。

(座長)

各機能の具体のデザインについては今後検討していくことになると思うが、景観、防犯、利便性についてはしっかり意識して検討して欲しい。

(副座長)

公園からリーバスプラザ古賀への渡り方については議論が十分にできていないと思うので、今後の課題であればその旨計画に記載しておくべきだろう。

(事務局)

道路をループ状にし、交差点が二ヶ所になることで公園とリーバスプラザ古賀の間の道路の自動車交通量は減る見込みであることは会議で伝えたが、どのように渡るかについては十分に検討が進んでいないので、課題の中に記載する。

(副座長)

パースについて、14p は憩い・子育てゾーン、22p は賑わい・サービスゾーンに対応しており、描かれたイメージで共有できているだろうが、交流・学びゾーンのイメージがまだ十分に議論できていないと思われる。

(事務局)

ご指摘の通りであり、文言のみの整理に留まっている。この箇所については、生涯学習ゾーンとの繋がりが、渡り方も密接に関わってくるので、今年度検討を進めるうえで重要なポイントとなるだろう。併せて課題として記載させていただく。

(委員)

公園利用者用の駐車場は計画しないのか。

(古賀市)

駐車場については、古賀市としてどうするか検討する必要があると考えているが、現時点でどこに整備すると具体には言えない状況である。

(委員)

公共交通を使って頂くということをメインとした計画はありがたいが、自動車で来られる方も多いと思うので、しっかりとした対策が必要だろう。また、駅前広場の出入口が1カ所なので、計算だけでなく、安全を考慮して余裕を持った計画としていただきたい。

(委員)

計画内に書かれていることではあるが、今回の計画を踏まえて、今後、専門家も交えて魅力的な空間デザインの検討がなされることを期待したい。

(委員)

不定期なイベント開催や防災にも対応できる設備を整える等、人が集まることのできる空間を整備して欲しい。

(委員)

今流行りの駅にピアノを置くなど、少数の音楽イベントが行われるといったことができるよ。ただ、今の古賀と公園のイメージが合うのかが気になる。

(古賀市)

イベント対応等については、この公園を使うことまで考えた整備をしていきたい。

(座長)

イベント対応や公園を使うことを考えたデザインについては、計画書 15pに文言として盛り込んだ方がよ。古賀に公園が合うかという指摘については、これから「古賀らしさ」を十分踏まえて詳細に検討していくものである、安心して欲しい。

(委員)

人が来るということを過剰に期待せずに、古賀らしさを考えながら、今まで古賀になかった過ごし方、駅前で落ち着ける環境をつくれたら良いと思う。具体の空間検討においては、真ん中の公園だけではなく境界等のデザインもポイントとなるので、しっかりとしたプロセスで設計者選定を行うべきだろう。

(座長)

設計者選定も大事だが、選んだ設計者と古賀市の皆さんが継続的に連携していくプロセスがより重要だろう。

(委員)

古賀駅東口周辺全体のゾーニングについてはどう考えているのか。

(古賀市)

今年度の業務の中で検討し、令和4年度中に用途地域変更や地区計画を含めた都市計画手続きを進めていく予定である。

(古賀市)

今回のご指摘を踏まえた整備基本計画のとりまとめをもって、本策定会議は終了となる。今年度8月以降、空間デザインや使い方、用途地域・地区計画の設定等を含めた整備ガイドラインの検討を行う予定であり、ある程度検討が進んだ段階で、本会と同様の形の策定会議を開催したい。1回目は12月頃を予定しており、2回目は未定であるが、今後またご案内する。全体スケジュールについては計画案 27pに記載の通りであり、今後検討が進む中でより具体のスケジュールを示していきたい。

3. 閉会

以上